



福島県医第 1899 号 (地)

平成 24 年 11 月 2 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松 田 峻一良

(公印省略)

厚生労働省「チーム医療実証事業報告書」について

今般、厚生労働省医政局医事課より日本医師会を通じて「チーム医療実証事業報告書」の周知依頼が参りましたのでご連絡申し上げます。

同事業は、チーム医療推進方策検討ワーキンググループが取りまとめた「チーム医療推進のための基本的な考え方と実践的事例集」を全国に普及させることを目指し、これらの取組によって提供される医療サービスの安全性・効果等を実証するため、委託事業として医療機関等（68 施設、115 チーム）で行われたもので、今般、その事業報告書が取りまとめられました。本報告書の取りまとめに当たっては、実施施設からの報告に加え、チーム医療推進方策検討ワーキンググループ委員のコメントも付記されております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご丁知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、本報告書は 630 ページに及ぶため、目次のみをお送りいたします。全文は厚生労働省のホームページをご覧くださいませようよろしくお願い申し上げます。

URL : <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002jy6a.html>

小郡三井医師会より

医療安全管理担当理事 島田昇二郎
会長 蒲池 壽

(地 I 145)

平成 24 年 10 月 30 日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事

小 森



厚生労働省「チーム医療実証事業報告書」について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

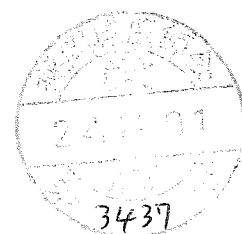
さて今般、厚生労働省医政局医事課より本会宛に、「チーム医療実証事業報告書」の周知方依頼がありました。

同事業は、チーム医療推進方策検討ワーキンググループが取りまとめた「チーム医療推進のための基本的な考え方と実践的事例集」（平成 23 年 7 月 19 日付(地 I 108)の文書をもって送付済み)を全国に普及させることを目指し、これらの取組によって提供される医療サービスの安全性・効果等を実証するため、委託事業として医療機関等(68 施設、115 チーム)で行われたものであります。今般、その事業報告書が取りまとめられました。本報告書の取りまとめに当たっては、実施施設からの報告に加え、チーム医療推進方策検討ワーキンググループ委員のコメントも付記されております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただきますとともに、貴会管下郡市区医師会への周知方につきまして、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、本報告書は 630 ページに及ぶため、本会からは目次のみをお送りいたします。全文は厚生労働省のホームページに掲載されておりますので、そちらをご覧くださいようよろしくお願い申し上げます。

URL <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002jy6a.html>



事 務 連 絡
平成24年10月19日

社団法人 日本医師会 御中

厚生労働省医政局医事課

「チーム医療推進実証事業報告書」の取りまとめについて（周知）

近年、医療の質や安全性の向上及び高度化・複雑化に伴う業務の増大に対応するため、多種多様なスタッフが各々の高い専門性を前提とし、目的と情報を共有し、業務を分担するとともに、互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供する「チーム医療」が様々な医療現場で実践されています。

厚生労働省では、平成22年5月に設置した「チーム医療推進会議」の下に、同年10月にチーム医療推進方策検討ワーキンググループを立ち上げ、以来8回にわたり検討を重ね、平成23年6月にチーム医療を推進するための方策として「チーム医療推進のための基本的な考え方と実践的事例集」を取りまとめました。

今般、上記事例集を参考に、医療機関等の医療現場の関係者の協力を得て、これらの取組によって提供される医療サービスの安全性・効果等を実証し、チーム医療推進方策検討ワーキンググループ委員の意見も伺った上で、「チーム医療推進実証事業報告書」として取りまとめたので報告させていただくとともに、会員各位等への周知をお願いします。

なお、大変恐縮ですが、報告書は大部にわたるため、本事務連絡には添付していません。厚生労働省のホームページにて公表しておりますので、下記URLをご参照下さい。

記

URL : <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002jy6a.html>

平成 23 年度 チーム医療実証事業 報告書について

厚生労働省医政局

はじめに

近年、医療の質や安全性の向上及び高度化・複雑化に伴う業務の増大に対応するため、多種多様なスタッフが各々の高い専門性を前提とし、目的と情報を共有し、業務を分担するとともに、互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供する「チーム医療」が様々な医療現場で実践されている。

厚生労働省では、平成 22 年 5 月に設置した「チーム医療推進会議」の下に、同年 10 月にチーム医療推進方策検討ワーキンググループを立ち上げ、以来 8 回にわたり検討を重ね、平成 23 年 6 月にチーム医療を推進するための方策として「チーム医療推進のための基本的な考え方と実践的事例集」を取りまとめた。

今般、上記事例集を参考に、医療機関等の医療現場の関係者の協力を得て、これらの取組によって提供される医療サービスの安全性・効果等を実証したので、その内容を報告する。

1. チーム医療実証事業の目的

「チーム医療推進のための基本的な考え方と実践的事例集」を踏まえた取組を全国に普及させることを目指し、実際の取組によって提供可能となる医療サービスの安全性、効果等を実証するため、委託事業として医療機関等の医療現場の関係者の協力を得て行ったものである。

2. 選定施設

提出された申請書等について事務局において厳正に審査した結果、応募した 104 施設（200 チーム）のうち、68 施設（1 チーム実施 44 施設、複数チーム実施 24 施設）を実証事業の委託施設として選定。

区 分	施 設 数	チーム数
病 院（400 床以上）	34	72
病 院（200～399 床）	13	18
病 院（20～199 床）	15	19
診療所等（薬局含む）	6	6
計	68	115

3. ワーキンググループ委員による報告書へのコメント

事業年度終了後、実施施設から報告書を提出させ、今後、実施施設において当該取組を改善・推進していく観点から、提出された報告書について 115 チームそれぞれにつきワーキンググループ委員のうち、各チームの取組内容に関連する分野の委員 2～3 名程度のコメントを付記した。

4. チーム医療の更なる普及に向けて

- 医療機関等の医療現場の関係者の協力を得て、これらの取組によって得られた、医療サービスの安全性・効果等について本報告書を取りまとめ、取組内容について選定施設自らが評価を行い、また、課題等を抽出するとともに、チーム医療推進方策検討ワーキンググループの委員からも助言等をいただいた。
- チーム医療の在り方は、個々の医療機関の置かれている状況により異なるため、それぞれの現場に応じた取組、地域における人材確保等が必要である。
- チーム医療の評価方法についても同様に、取組内容によって評価すべき内容が異なり、チーム医療の取組以外の要素についても評価項目に影響を及ぼすこと等から、一律に評価項目を設定していくことは難しいと考えられるため、本事業においては、実施施設自らが、その取組内容について評価を行った。
- 一方で、より質の高い医療を効率的に提供するチーム医療を目指すためには、それを評価する共通の視点を持つことも必要であり、例えば、以下の視点が参考になるのではないと思われる。
 - ① 各医療専門職がその専門性を発揮し、その組み合わせによりチーム医療が提供できるよう、その業務内容が各々の専門性に特化され、患者と接するようなものとなっているか。
 - ② 必要な時に適切な医療が患者に提供できるよう、診断・治療を標準化して、多くの専門職種が参加する業務の実施体制が構築されているか。
 - ③ 各医療スタッフがそれぞれの専門的視野で患者の状況を把握して判断しているか。
- 今後は、本報告書の具体的な取組内容、その効果等を広く周知すること、また、平成24年度に「チーム医療普及推進事業」を実施すること等により、チーム医療の更なる普及につながることを期待したい。

チーム医療推進方策検討ワーキンググループ委員名簿

【委員】

市川	幾恵	昭和大学統括看護部長
遠藤	康弘	埼玉県済生会栗橋病院 院長
小川	克巳	沖縄リハビリテーション福祉学院 副学院長
小沼	利光	東京都済生会向島病院 医療技術部長
川越	厚	クリニック川越 院長
川島	由起子	聖マリアンナ医科大学病院栄養部長
栗原	正紀	長崎リハビリテーション病院 理事長
鈴木	紀之	筑波メディカルセンター病院 法人事務局次長・副院長
高本	眞一	三井記念病院 院長
田口	良子	前 神奈川県三崎保健福祉事務所 保健福祉課長
玉城	嘉和	医療法人社団ピーエムエー理事長
近森	正幸	近森病院 院長
土屋	文人	国際医療福祉大学薬学部 特任教授
徳田	禎久	社会医療法人禎心会 理事長
中村	春基	兵庫県立総合リハビリテーションセンター リハビリテーション中央病院 リハビリ療法部長
原口	信次	東海大学医学部付属病院 診療技術部長
堀内	成子	聖路加産科クリニック副所長
松阪	淳	前 国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院 臨床工学科
小森	貴	小森耳鼻咽喉科医院 院長
向井	美恵	昭和大学口腔ケアセンター長
森田	秋子	初台リハビリテーション病院 教育研修部長
○山口	徹	虎の門病院 院長

【オブザーバー】

岡本	征仁	札幌市消防局警防部救急課長
柏木	一恵	財団法人浅香山病院 社会復帰部長
須貝	和則	東埼玉総合病院医事課長
津川	律子	日本大学文理学部心理学科教授
取出	涼子	初台リハビリテーション病院 教育研修局 SW部門チーフ
畠山	仁美	前 須坂市社会福祉協議会 事務局次長

○ 座長

千一△医療実証事業 報告書

【目 次】

- (1) 急性期分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- (2) 慢性期分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P91
- (3) 在宅分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P182
- (4) 感染管理の分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P255
- (5) 栄養サポート等の分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P276
- (6) 薬剤師の活用、薬物療法等の分野・・・・・・・・・・ P313
- (7) 医科歯科連携の分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P387
- (8) 個別疾病の分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P451
- (9) 地域連携の分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P572
- (10) 病院管理の分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P590
- (11) その他の分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P608

(1) 急性期分野

エキスパートナーによる心臓血管外科における看護外来を中心とした周手術期管理 (兵庫医科大学病院)	2
救命救急チーム(救命救急センターでの臨床検査技師、薬剤師の常時配置) (医療法人鉄蕉会 亀田総合病院)	5
周術期管理センター(Perioperative management center: PERIO) (国立大学法人岡山大学 岡山大学病院)	9
心臓カテーテルチーム (学校法人 昭和大学)	15
救急・集中治療チーム (筑波大学附属病院)	18
薬剤師専従による周術期管理チーム (広島大学病院)	23
周術期食道癌チーム (昭和大学横浜市北部病院)	26
スマートフォンを利用した「チーム医療」情報の24時間共有 (東邦大学医療センター大橋病院)	31
「心疾患病診・病病連携のチーム医療サポートチーム」 (東邦大学医療センター大橋病院)	39
周術期患者管理チーム (国立がん研究センター東病院)	47
院内トリアージ推進チーム (筑波メディカルセンター病院)	53
急性期リハビリテーションチーム (財団法人脳血管研究所附属美原記念病院)	58
「急性期リハ充実度」検証チーム (財団法人操風会岡山旭東病院)	67
ストロークチーム(脳梗塞早期治療に向けたチーム医療) (財団法人操風会岡山旭東病院)	75
生活支援チーム (財団法人操風会 岡山旭東病院)	81
ERASに基づいた周術期栄養管理チーム (社会医療法人 禎心会病院)	83
脳卒中治療領域におけるチーム医療 (荒木脳神経外科病院)	86

(2) 慢性期分野

摂食嚥下サポートチーム	
（虎の門病院）	91
心臓リハビリテーションチーム	
（財団法人 厚生年金事業振興団 九州厚生年金病院）	96
褥瘡対策チーム	
（大阪厚生年金病院）	100
フットケアチーム	
（大阪厚生年金病院）	105
褥瘡対策チーム	
（社会福祉法人 三井記念病院）	112
褥瘡対策委員会 褥瘡対策チーム	
（国立がん研究センター東病院）	115
呼吸サポートチーム（慢性呼吸ケアチーム）	
（石巻赤十字病院）	118
独立行政法人 国立長寿医療研究センター「褥瘡対策チーム」	
（独立行政法人国立長寿医療研究センター）	120
褥瘡対策チーム	
（碧南市民病院）	123
多職種協業による患者参加型の転倒転落防止チーム（転倒転落ワーキンググループ）	
（湯布院厚生年金病院）	132
回復期リハビリテーション病棟における介護指導支援チーム	
（医療法人社団勝木会やわたメディカルセンター）	139
下肢救済チーム	
（大分岡病院）	142
退院支援チーム（Discharge Support Team /DST）	
（財団法人操風会 岡山旭東病院）	146
糖尿病療養指導チーム	
（医療法人翔南会 翔南病院）	151
アクティビティケアチーム	
（秩父生協病院）	157
COPD ケアチーム前橋	
（前橋赤十字病院）	165
病棟専従多職種専門家チームによるリハビリテーションサービスの提供とその効率性の実証	
（長崎リハビリテーション病院）	168

(3) 在宅分野

緩和ケア病棟・訪問診療所 医療連携グループ

(国立がん研究センター東病院)	183
-----------------------	-----

在宅医療支援チーム

(国立がん研究センター東病院)	185
-----------------------	-----

独立行政法人 国立長寿医療研究センター「在宅医療チームと在宅医療支援病棟との連携」

(独立行政法人国立長寿医療研究センター)	188
----------------------------	-----

在宅緩和ケア専門チーム

(医療法人社団バリアン クリニック川越)	192
----------------------------	-----

在宅ケア推進チーム

(まるやまホームクリニック)	197
----------------------	-----

上田地域ケアを支える診療所・薬局連携チーム

(い内科クリニック)	232
------------------	-----

蔵の街とちぎ在宅療養支援チーム

(株)メディカルグリーン あゆみ薬局)	245
---------------------------	-----

チューリップ・エルシーエス地域連携チーム

(チューリップ薬局平針店)	249
---------------------	-----

(4) 感染管理の分野

ICT (Infection Control Team)

(国立病院機構大阪医療センター) 256

インфекションコントロールチーム (ICT)

(武蔵野赤十字病院) 261

感染制御チーム (Infection Control Team:ICT)

(医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院) 265

感染対策チーム (ICT)

(独立行政法人国立病院機構浜田医療センター) 271

(5) 栄養サポート等の分野

NST (Nutrition Support Team)

(独立行政法人国立病院機構東京医療センター) 277

栄養サポートチーム (NST)

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター) 280

武蔵野赤十字病院栄養サポートチーム

(武蔵野赤十字病院) 289

栄養サポートチーム (周術期栄養管理～外来から入院・退院における栄養サポート～)

(株式会社日立製作所日立総合病院) 294

栄養機能マネジメントチーム

(済生会八幡総合病院) 300

NST (栄養サポート) チーム

(公益財団法人 仙台市医療センター仙台オープン病院) 303

栄養サポートチーム (摂食・嚥下障害患者を含む)

(東京都リハビリテーション病院) 306

精神科における NST (Nutrition Support Team)=栄養サポートチーム

(医療法人唐虹会 虹と海のホスピタル) 310

(6) 薬剤師の活用、薬物療法等の分野

薬物療法を支える病棟チーム

(千葉大学医学部附属病院)	314
---------------------	-----

小児病棟医療チーム

(筑波大学附属病院)	320
------------------	-----

創薬・医療技術研究開発推進のための支援チーム

(独立行政法人国立病院機構東京医療センター)	326
------------------------------	-----

ICUにおけるチーム医療(薬物動態を中心とした集中管理)

(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター)	331
-------------------------------	-----

薬剤師病棟常駐

(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター)	337
-------------------------------	-----

薬剤師外来

(国立がん研究センター東病院)	340
-----------------------	-----

薬剤師病棟常駐

(多摩北部医療センター)	344
--------------------	-----

経口薬併用化学療法地域連携チーム

(国立大学法人東北大学 東北大学病院)	352
---------------------------	-----

通院治療センターチーム 化学療法ホットライン

(国立がん研究センター東病院)	363
-----------------------	-----

薬剤師の腫瘍センター(腫瘍専門病棟、外来化学療法室)常駐をいかしたチーム医療

(総合病院 聖隷三方原病院)	370
----------------------	-----

抗がん剤適正使用推進医療チーム

(筑波大学附属病院)	375
------------------	-----

外来化学療法チーム

(大阪厚生年金病院)	380
------------------	-----

(7) 医科歯科連携の分野

睡眠時無呼吸診療チーム

(岩手医科大学附属病院 歯科医療センター) 388

顎変形症診療チーム

(岩手医科大学附属病院 歯科医療センター) 390

口唇・口蓋裂診療チーム

(岩手医科大学附属病院 歯科医療センター) 392

顎顔面骨折診療チーム

(岩手医科大学附属病院 歯科医療センター) 394

小児科入院患児に対する口腔管理チーム

(岩手医科大学附属病院 歯科医療センター) 397

全身麻酔下手術予定者における術前の口腔ケアチーム

(岩手医科大学附属病院 歯科医療センター) 399

包括的医・歯・薬連携プロジェクト

(岩手医科大学附属病院 歯科医療センター) 401

総合的口腔衛生管理チーム

(社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院) 404

口腔ケアチーム

(武蔵野赤十字病院) 407

口腔ケアチーム

(社会福祉法人 三井記念病院) 411

ゆふ医科歯科連携チーム

(湯布院厚生年金病院) 414

療養病棟 パタカラチーム

(秩父生協病院) 428

初期口腔がん診療チーム

(昭和大学歯科病院) 446

(8) 個別疾病の分野

精神科コンサルテーション・リエゾンチーム（以下、精神科 CLT）

（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院） 453

造血幹細胞移植チーム

（国共連 虎の門病院） 456

せん妄対策チーム

（国立大学法人岡山大学 岡山大学病院） 460

外来化学療法支援チーム

（金沢大学附属病院） 465

HIV 診療におけるチーム医療（薬剤師外来常駐）

（独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター） 471

せん妄予防対策チーム

（市立豊中病院） 475

診療科を越えて重症化患者を早期に発見する SIRS サーベイランスチーム

（NTT東日本関東病） 481

せん妄対策プロジェクトチーム

（長浜赤十字病院） 485

がん診療連携拠点病院における精神腫瘍医を中心とした問題解決型リエゾン・チーム

（聖路加国際病院） 492

重症精神障害者の社会復帰を促進するための精神科多職種チーム

（独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター病院） 498

ディケアにおける疾病教育チーム

（独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター病院） 503

精神科における身体合併症治療専門チーム

（独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター病院） 506

治療適正化委員会

（医療法人静和会 浅井病院） 511

チーム医療推進特別委員会～チームで取り組む自殺予防対策～

（医療法人静和会 浅井病院） 514

せん妄サポートチーム

（国立がん研究センター東病院） 517

緩和ケアチーム

（石巻赤十字病院） 521

婦人科チーム

（碧南市民病院） 524

精神科急性期退院促進クリニカルパスチーム

（桶狭間病院 藤田こころケアセンター） 527

精神科における長期入院患者の地域移行支援チーム

（医療法人唐虹会 虹と海のホスピタル） 530

(9) 地域連携の分野

被災地における化学療法地域連携チーム

(国立大学法人東北大学) 573

都市部における地域完結型医療を目指すチーム～急性期病院とリハビリテーション病院との連携～

(医療法人敬仁会 友愛病院) 582

(10) 病院管理の分野

医療安全管理チーム

(東邦大学医療センター大森病院) 591

医療総合支援部医師業務支援チーム

(独立行政法人国立病院機構東京医療センター) 594

院内における煩雑な医療事務をサポートする医療チーム

(社会福祉法人 恩賜財団 埼玉県済生会栗橋病院) 597

小規模ケアミックス病院稼働率向上チーム

(社会医療法人 栄公会 佐野記念病院) 600

病棟マネージメントを改善するメディカルクラークとコ・メディカルチーム

(社会医療法人 禎心会 新札幌恵愛会病院) 606

(11) その他の分野

TeamSTEPPS 推進委員会

(医療法人鉄蕉会 亀田総合病院) 609

CT・MRI 効率向上チーム

(独立行政法人 国立病院機構東京医療センター) 612

心カテ安全チーム

(独立行政法人国立病院機構 東京医療センター) 620